

コープリハビリテーション病院・老健あかねだより

No.31 2016年 3月号

倉敷医療生活協同組合

コープリハビリテーション病院

〒712-8024 倉敷市水島北春日町4番3号

TEL 086-444-3212

老人保健施設 老健あかね

TEL 086-446-6541

コープリハビリテーション病院は、川崎医科大学附属病院と倉敷中央病院との連携病院です。

不自由な患者様が多く入院されておられ、中には酸素吸入や痰の吸引などの医療行為が必要な方も多くおられます。痰が多くて喉に絡み息苦しうにしている様子は、本人にとってはもちろん、それを見ているご家族にとっても辛いものだと思われまう。



豊 七條 当院の療養病棟は難病等で身体が

痰で苦しむ患者さんを少しでも楽にしたい
看護師とリハビリ職員が協力した排痰コラボ

の次にリハビリ職員が痰の出しやすい姿勢確保と痰を出す手技を使い、痰が喉元まで上がると看護師に吸引を依頼するという連携を行いました。この連携を「排痰コラボ」と表しました。職員同士の意思疎通も良くなり、痰が出やすくなる事も分かりました。

その結果、患者様自身も痰で苦しむ表情は改善し、病棟職員からも「夜間の痰の量が減ってよく寝られる」「熱が出なくなった」という声が聞けました。中には酸素吸入が不要となった方や肺炎により転院となる方が減りました。その他、ベッドの上でじっと寝ていた方が車椅子に座って家



看護師と理学療法士が排痰を行っている様子



痰が口元まで上がった時に吸引の様子

「イーローゴ・ネット」を検索してみてください。

現在、認知症でお困りの方は医療保険での支援、介護保険での支援、費用の支援等様々な支援があります。地域包括支援センターで相談したり、インターネットで「e65.net」

族と会話する方も居られ、我々の取り組みの成果が出ている事を実感出来ました。今回の取り組みは5月に開催される中四国呼吸ケア・リハビリテーション学会で発表させて頂く予定にしています。

コープリハビリテーション病院 理学療法士 七條 豊



きずなの会 秋の親睦旅行（玉野市）後列左から2番目が筆者の三寺さん

着々と新築工事が進められているのを通った時に見るのを楽しみにしています。

私の父が終戦後水島に初めて診療所を木造で建設させていただいたそうです。このご縁で父が脳梗塞の後遺症回復の為、コープリハビリテーション病院に入院させて頂いていま

コープリハビリテーション病院に期待すること
きずなの会 会長 三寺 徹

た。初めての入院なので、本人、私も大きな不安がありました。が、食事は体調に合わせたメニューにしてくださいました。

毎日管理栄養士の方が食事の見に来て声を掛けて下さいました。またリハビリでは1ヶ月の計画書があり、私は必ず1項目ずつ目を通し、不明な点は質問すると丁寧に説明して下さいました。

退院後の支援計画も自宅で安心して介護出来るように話し合いの場を持ってアドバイ

建設の状況 基礎工事が始まりました



スもしてくれました。

新しい病院では、認知症ケア、がんのリハビリなど色々なフロアが計画されているようです。より医療と介護活動が活発に出来るようになり、地域の頼りになる病院と期待しています。

特集 看護 ⑬
認知症の人にかかわる
保健医療福祉制度と
連携システムづくり ③
認知症看護認定看護師
田上 理枝
コープリハビリテーション病院1病棟

高齢者の方に「自分」に介護が必要になつたら」という厚労省がおこなつたアンケートでも多かったのは「家族に依存せずに生活できるような介護サービスがあれば自宅での介護を受けたい」で46%、2位は「自宅で家族の介護と外部の介護サービスを組み合わせる」で24%でした。認知症地域包括ケアシステムができれば、この希望が実現されるわけですね。

私たち医療機関・介護施設の者も他関連施設と上手に連携していく力が求められると思います。現在でも「タイムリーなやり取りができない」「伝えたいように実施されない」などの問題があるようです。連携作りが大切です。

現在、認知症でお困りの方は医療保険での支援、介護保険での支援、費用の支援等様々な支援があります。地域包括支援センターで相談したり、インターネットで「e65.net」

入院や入所に際して、部屋代はいただいていません。